# 秋・ふれあいプラザ宮古の創作活動

## ・・・・・・・『ないろシャンデリア』・・・・・・・

宮古島市では11月30日～12 月10日にかけて障害者週間『文化作品展』が開催され、ふれあいプラザは書道・絵画・工芸部門で25点、標語部門で1点を出品しました。
工芸は「SDGs」テーマにして、利用者ひとりひとりが手を加えての作品、ペットボトルを再利用した”シャンデリア”を作りました。
始めにどうやって形にするか話し合い、支柱は利用者さんのギタースタンド、枠はスタッフの植木鉢の台を使い、まさに再利用ばかり。10月から日中の活動でせっせと部材に色を付け、ワイヤーやビーズを使ってつなげる作業を日々延々と繰り返しました。

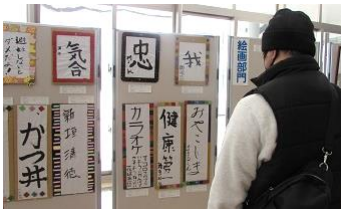
仕事の合間や仕事終わりでも、「シャンデリアの進み方が気になって仕方ない」と言って、足繁くプラザに足を運んでくれる利用者もたくさん！ みなさんのアイデアが沢山詰まっています。
電球を点灯した時には『わ～～☆』と歓声があがり、「これを描くまでが大変だったよ～」とか「この格言はなんだろう？」とか、シャンデリアを眺めながらお話が弾んでいたのが印象的でした。

12月2日には展示の見学にも行き、他事業所の作品にも感銘を受けてきました。今年は大作揃いでしたね！

## ・・・・・・・『書　道』・・・・・・・

書道部門にはプラザだけでなんと21点も出品。
コロナ禍で不十分だった活動への思いや、保護した猫へ伝えたいこと、健康や日常のことなど様々な書がしたためられています。今年になりプラザを利用し始めた利用者Ａさんは、毎日記入に取り組んだご自身の名前をそのまま作品に。額装にもこだわって賑やかな展示になりました。

写真撮影会の様子



【ふれあいプラザ宮古　荻野・下地】